

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

ヘルパンギーナに注意しましょう！

ヘルパンギーナが増えています。
 例年夏場に流行する感染症で、これからさらに増加する可能性がありますので注意が必要です。

【潜伏期間】: 2～5日

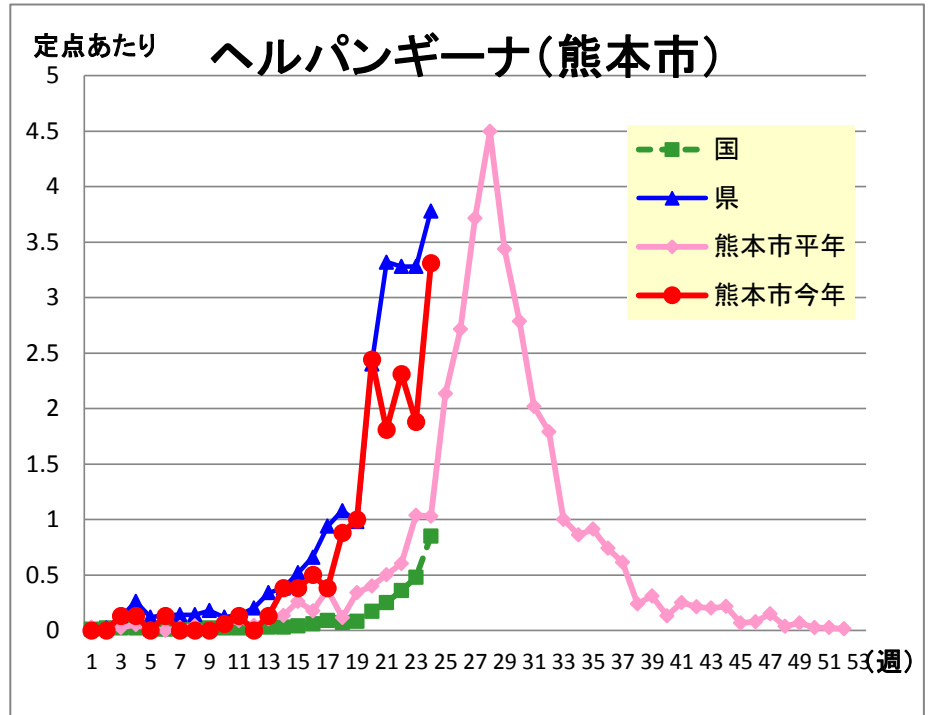
【症状】: 発熱(38度以上、時には39度～40度近い高熱を発症するケースも)、口腔内の口内炎や水疱、咽頭炎

ほとんどの場合経過は良好ですが、まれに髄膜炎や心筋炎を起こすことがあります。特に、ぐったりしている、強い頭痛・嘔吐を伴う発熱が2日以上続く、などが見られた場合は医療機関を受診するようにして下さい。

原因となるウイルスにはいくつかの型があり、何度もかかってしまうことも珍しくありませんので、予防対策をしっかり行いましょう。

【感染予防のポイント】

ウイルスは、患者の鼻水や唾液、便などに存在し、回復しても数週間は、便中にウイルスが排出されます。一般的な予防は手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することです。外出後、食事の前やトイレの後は、流水と石鹸で十分に手を洗い、タオルの共用はしないようにしましょう。



期 間		第23週		第24週	
		6/2～6/8		6/9～6/15	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	1	0.04
RSウイルス感染症	➡	0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	10	0.63	12	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	38	2.38	46	2.88
感染性胃腸炎	➡	69	4.31	61	3.81
水痘(みずぼうそう)	⬆	7	0.44	19	1.19
手足口病	⬇	21	1.31	15	0.94
伝染性紅斑(りんご病)	➡	2	0.13	0	0.00
突発性発疹	➡	17	1.06	16	1.00
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	⬆	30	1.88	53	3.31
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	9	0.56	5	0.31
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	16	3.20	17	3.40
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	1	0.20
無菌性髄膜炎	➡	3	0.60	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	1	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	4	0.80	0	0.00